



こんにちは

日本共産党

市会議員

西野さち子です

4月いっせい
地方選

いのち・くらしを守る議席必ず！！

ばば・西野事務所びらきに150人が参加



応援に駆けつけた倉林参院議員と必勝のぞい踏み。集まった参加者からは、大きな声援が送られた。



2月22日4月に行われるいっせい地方選挙のばばこうへい・西野さち子事務所開きが行われました。当日は雨模様の中、事務所いっせいの150人の方々が参加されました。地域の方、倉林明子参議院議員から激励の挨拶を受け、馬場こうへい府会議員、西野さち子市会議員が再選に向けての決意を表明しました。

市政報告

代表質問

日本共産党は、山中、蔵田、玉本の3議員が行いました。主な質疑は次の通り。

経済政策の基本と消費税増税について

業界代表の方が、「アベノミクスというが中小零細企業は厳しい」「購買力が落ちている」とあいさつされたとおり、京都の中小企業が停滞から抜け出す見通しはまったく立っていないのが現状。

(→塚本副市長) 京都経済はゆるやかな回復基調にあるが、中小企業と家計には恩恵が十分には及んでいない。

国民健康保険料の引き下げについて

今回の改定案で、所得300万円、4人世帯で約2万4千円の引き下げとなりますが、それでも50万円を超える保険料です。一層の保険料引き下げを行うべきです。

(→藤田副市長) きめ細かで丁寧な納付相談を行った上で、特別な理由を示されないまま長期にわたり保険料を滞納している人には、法令に基づき被保険者証に変わって資格証明書を交付することは、公平性の観点から必要である。

老人医療費支給制度について

現行制度の所得制限は維持し、対象は65歳から74歳までに引き上げるべきです。高齢者の医療費負担を増大させる提案は撤回すべきです。

(→藤田副市長) 現行制度のまま対象者を74才まで拡大することは多額の経費が必要であり、到底困難。

市政報告
懇談会

2月20日、「市政報告懇談会」が開かれました。山中団長の挨拶、井坂副団長の予算案の特徴について

西野さち子市会議員は「皆さんのおかげで4期16年頑張ることができました。その間、最初は無理だと言われていたことも一緒に力を合わせてひとつづつ願いを実現することができました。これからもがんばります。また、安部内閣は憲法9条を変えると戦争する国づくりに向かって暴走しています。いっせい地方選挙で日本共産党が伸びればブレーキをかけることになり、この事務所を憲法を守る運動の拠点にして最後までがんばります」と決意を述べました。

の報告があり、意見交換が行われました。予算案は市長の進める「京(みやこ)プラン」実施計画の総仕上げ予算で、市民生活の破壊と自治体壊しを進めるといった問題点が指摘されました。



参加者からは「エコ・コンパクトな都市構造」や富裕層観光、「プレミアム付商品券」、敬老乗車証、原発再稼働、市営住宅の空き家問題など、

多様な意見や要望が出されました。

出された声を議会に生かしてしっかりと議論をしていきます。